

2012年5月17日

各位

積水ハウス株式会社
代表取締役社長：阿部 俊則
本社：大阪市北区大淀中1-1-88

積水ハウスグループの環境・CSRに関する取り組み報告書

「Sustainability Report(サステナビリティレポート) 2012」発行

積水ハウス株式会社は、積水ハウスグループの環境・CSRに関する取り組みをまとめた報告書「サステナビリティレポート2012（持続可能性報告書 2012年1月期（※1））」を5月17日（木）に発行しました。

「サステナビリティレポート2012」では、東日本大震災復興に向けた当社グループとしての活動に関する報告をはじめ、サステナブル社会の実現に向けた未来への取り組みとして環境配慮型住宅「グリーンファースト」の展開について取り上げました。世界初3電池を搭載した「グリーンファーストハイブリッド」や、“災害に強いまち”を目指した「スマートコモンシティ」について紹介しています。

また、環境省認定の「エコ・ファーストの約束」（※2）の更新に伴い、当社グループが積極的に推進している地球温暖化対策や生態系保全、資源循環、まちづくり、健康・高齢社会、ステークホルダーへ向けた取り組みとそれらの進捗状況について、実例や具体的な数値データを交えてわかりやすく説明しています。

<「サステナビリティレポート2012」の主な掲載内容（抜粋）>

- 東日本大震災復興に向けた積水ハウスグループの取り組みについて
- 「エコ・ファースト企業」として推進する3つの約束の進捗状況について

約束① 家庭部門及び事業活動に伴うCO₂排出量削減を積極的に推進します

- ・ 太陽光発電システム搭載の戸建住宅 2011年度：11,222棟 →2012年度目標：12,000棟
- ・ 家庭用燃料電池設置 2011年度：5,356棟 →2012年度目標：6,000棟
- ・ 夏季ピーク電力カット 2011年度：25.3%（7～9月全社事務所）
（東北・東京電力管内工場におけるピーク時使用量15%カットも達成）

約束② 生態系ネットワークの復活を積極的に推進します

- ・ お客様の庭づくりを通じた年間植栽実績 2011年度：96万本 →2012年度目標：100万本
- ・ 「木材調達ガイドライン」に基づく木材の調達ランクの向上（2006年度→2011年度の推移）
最も評価の高いSランク：30% → 60%

約束③ 資源循環の取り組みを徹底的に推進します

- ・ 新築施工現場の住宅1棟当たりの廃棄物排出量（※3）
2011年度：1,376kg（2000年度<2,893kg>から比べると1棟当たり約1.5t<約50%>削減）

（※1） 2011年2月1日～2012年1月31日

（※2） 2008年に環境省が創設した「エコ・ファースト制度」に基づき、「エコ・ファースト企業」（2012年4月末時点で38社）として認定された企業が、環境大臣に対し、地球温暖化対策など自らの環境保全に関する取り組みを積極的に推進することを約束。その進捗状況を環境省へ報告、または公表することが求められる。

（※3） 延床面積145㎡の住宅での換算値。

<本件に関するお問い合わせ先>

積水ハウス株式会社 広報部
（大阪）06-6440-3021（東京）03-5575-1740



積水ハウスは環境省認定
「エコ・ファースト企業」として
「チャレンジ25」に取り組んでいます



●掲載にあたってのマテリアリティ（重要性）や内容については社会情勢の他、「サステナビリティレポート2011」に対する社内外約3,000名のアンケート回答などを勘案し、社外委員3名を含むCSR委員会（※4）で決定しました。

（※4） 会長兼CEOを委員長、社長兼COOを副委員長として、3ヶ月に1度開催。社内委員（社内取締役全員と一部の執行役員）と3名の社外委員がCSRの重要方針の立案と推進、検証を実施しました。

●「サステナブル社会実現に向けた組織マネジメント」のページでは、当社の「サステナブル・ビジョン」を実現するための具体的指針である「4つの価値」と「13の指針」を、社会的責任に関する国際ガイドンス規格であるISO26000に照らして整理し、当社のCSR活動の方向性と国際的な期待との整合性を確認しました。

●「サステナブル社会の実現に向けて」のページでは、東日本大震災の復旧・復興と変化した社会のニーズに対して当社グループがどのように社会的責任を果たしたかについて力点を置き、レポートしています。また、震災後の次代の要請に応える「『グリーンファースト』の展開」の他、「健康への配慮」、「国際事業の展開」に向けた取り組みについて紹介しています。

●2011年度1年間の年次報告書と位置付け、「実践報告」のページに地球温暖化対策や生態系保全、資源循環、まちづくり、健康・高齢社会へ向けた対応、ステークホルダーへの取り組みなど主な活動を掲載しています。

<誌面イメージ>



●取り組みに対する客観的な評価として、お客様や社外有識者の方々からのご意見を掲載しています。

●WEB版では、270項目以上にわたる豊富な情報量によって、冊子版よりもさらに詳しく取り組みを紹介しています。（<http://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/2012/>）

<WEBサイト トップページ>



<冊子とWEBサイトの位置付け>

